

# 体育科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍  新しい保健  3 3 1  5 3 1
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「毎日の生活と健康」については、健康に過ごすための1日の生活について考えたり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解することができるようになっている。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、現在までの自分の身長を調べたり、思春期における体の変化について調べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」及び「けがの予防」については、心と体が影響し合っていることについて考えたり、犯罪が起こりやすい場所について考えるたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの予防について理解することができるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、感染症や生活習慣病の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒、薬物が健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年は、事例を基に生活習慣や身の回りの環境について改善点を見付けたり、栄養のバランスがとれた朝食のメニューを選んだりするなど、知識を活用する活動が取り扱われている。</p> <p>第5,6学年は、事例を基に不安や悩みへの対応の仕方やけがの防止の仕方について考えたり、喫煙や飲酒、薬物を勧められたときの断り方を考えたりするなど知識を活用する活動が取り扱われている。</p>
内 容 の 構 成 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成については、自分の身長の変化について調べたり、地域の危険な場所について考えたりするなど、実生活に生かすことができるよう配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第5,6学年において身近な生活における健康・安全について学習した後、健康に関する目標を立てる活動を位置付け、中学校での指導に結び付けるようにするなど、系統的・発展的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年では前回と同様となっている。第5,6学年では、前回より約4パーセント増となっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 資料として「まめちしき」等を掲載したり、各章末の「広げよう」に今日的課題等を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○ 「話し合ってみよう」など、活動内容が一目でわかるようにするなど、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○ 記述欄を設け、個々の考えを記入できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

## 体育科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 新版 たのしい保健  3 3 2 5 3 2
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「毎日の生活と健康」については、自分の1日の生活を振り返り規則正しい生活について考えたり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解することができるようになっている。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、現在までの自分の体格の変化を調べたり、思春期の体の変化について考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」及び「けがの予防」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、犯罪被害に遭わない行動の仕方を考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの予防について理解することができるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、生活習慣病の予防に関する自分の経験を振り返ったり、喫煙や飲酒、薬物が健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年は、健康によい生活を送るために自分が気を付けることを考えたり思春期の体や心に変化する時期の生活の仕方について考えたりするなど、知識を活用する活動が取り扱われている。</p> <p>第5,6学年は、自分が不安や悩みをもったときの対処の仕方について考えたり喫煙や飲酒、薬物などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動が取り扱われている。</p>
内 容 の 構 成 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成については、身長の変化を調べたり、心や体の発達において自分のよさを見付けることができるなど、実生活に生かすことができるようになっている。</p> <p>○ 内容の排列については、第5,6学年において喫煙による健康への害を学習した後、人から勧められたときの断り方を学習する活動を位置付け、飲酒や薬物も同様の流れで繰り返し学習できるようにするなど、系統的・発展的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年では前回と同様となっている。第5,6学年では、前回より9パーセント増となっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 各単元の導入で、学習をナビゲートするゲームや、「ミニちしき」などを掲載するなど、児童の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○ 課題を解決していくための思考を促す投げかけを、子どものキャラクターの吹き出しで示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○ 自分の成長の変化に興味・関心をもって学習することができるシールを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

体育科調査研究報告書

<p>書名 観点</p>	<p>文教社 わたしたちの保健  3 3 3 5 3 3</p>
<p>取 扱 内 容</p>	<p>○ 第3,4学年の「毎日の生活と健康」については、生活リズムの見直しを考えたり、体を清潔にするために気を付けていることを振り返ったりする活動を通して健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解することができるようになっている。 「育ちゆく体とわたし」については、自分の体格の変化や発育の個人差について調べたり、思春期における異性とのかかわり方について考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、けがの防止を防ぐためのめあてを考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処の仕方やけがの防止について理解することができるようになっている。 「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防について考えたり、喫煙や飲酒、薬物などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通し、病気の予防について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年は、自分の生活調べを通して生活リズムを見直す点について考えたり、よりよい発育のために心掛けたいことを考えたりするなど、知識を活用する活動が取り扱われている。 第5,6学年は、自分の学校の「校内安全点検」や地域の安全点検をしたり、自分が食べているおやつ脂肪分や塩分量を調べたりするなど、知識を活用する活動が取り扱われている。</p>
<p>内容 の構 成 排 列 ・ 分 量 等</p>	<p>○ 内容の構成については、自分の1週間の生活調べをして、生活リズムを見直したり、地域で安全に過ごす仕方を考えたりするなど、実生活に生かすことができるようになっている。</p> <p>○ 内容の排列については、第5,6学年では思春期の心の健康について学習した後、友達への不安や悩みへのアドバイスを考える学習を位置付け、自分から他者へと考える視野を広げられるよう、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年では前回と同様となっている。第5,6学年は、前回より10パーセント増となっている。</p>
<p>使 用配 上慮 の等</p>	<p>○ 児童が親しみやすい子どものキャラクターを用いたり、「情報コーナー」を設けたりして、児童の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○ 「考えてみよう」で学習方法を示したり、課題解決に結び付く視点やヒントを示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○ 多様な記入欄を設け、書き込む活動を通して、主体的に楽しみながら学習できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p></p>

## 体育調査研究報告書

書名 観点	光文社 見つめよう健康  3 3 4 5 3 4
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「毎日の生活と健康」については、1日の生活を振り返り生活時間表を作ったり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解することができるようになっている。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、個人による身長伸び方の違いを調べたり思春期における男女の体の変化を比べたりする活動を通して体の発育・発達について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体の関係について考えたり、危険を予測し、安全な行動の仕方について考えたりする活動を通して心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解することができるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して、病気の予防について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年では、自分のこれからの生活や体の清潔を保つことについて気を付けたことを考えたり、毎日続けられる自分に合った運動について考えたりする等の工夫がなされている。</p> <p>第5,6学年では、身の回りにある危険から身を守るための対処の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などを勧められたときの断り方を考えたりする等の工夫がなされている。</p>
内容 の 構 成 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成については、自分の身長の変化を調べたり、心や体の発達において自分のよさを見付けたりするなど、実生活に生かすことができるように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第5,6学年で交通事故の防止について学習した後、安全な行動の仕方について学習する活動を位置付け、犯罪被害の防止も同様の流れで学習できるようにするなど、系統的・発展的に学習ができるような工夫がされている</p> <p>○ 内容に分量については、第3,4学年では前回と同様となっている。第5,6学年は、前回より9パーセント増となっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 健康に関する今日的な話題などを「保健の広場」として掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫されている。</p> <p>○ 児童キャラは児童の立場でサポート、養護教諭などのキャラは専門的な助言をするなど、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○ 既習の内容について、確認・復習などのマークを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

# 体育科調査研究報告書

書 名 観 点	学研      みんなの保健  3 3 5    5 3 5
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「毎日の生活と健康」については、生活の仕方による心や体の調子の変化について振り返ったり、手や下着などの汚れを調べたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解することができるようになっている。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、台紙を使って自分の身長伸びを調べたり、給食の献立を調べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」及び「けがの防止」については、事例を基に自分の気持ちの伝え方を考えたり、事故が起こりやすい行動について予測したりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解することができるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防について考えたり、喫煙や飲酒、薬物などが健康におよぼす悪影響について調べる活動を通して、病気の予防について理解することができるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年では、身の回りの生活環境を整えるために自分が気を付けることを考えたり、体がよりよく成長するために自分が実行することを考えたりするなど、知識を活用する活動が取り扱われている。</p> <p>第5,6学年では、身の回りの事故や犯罪が起こりやすい場所を調べて、地域の安全マップ作りをしたり、飲酒や喫煙などを勧められた時の断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動が取り扱われている。</p>
分内 量容 等の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 内容の構成について、自分の生活を振り返り、健康な生活について考えたり、地域の安全マップを作ったりするなど、実生活に生かすことができるよう配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第5,6学年で心と体のつながりを学習した後思春期の不安や悩みについて考える学習を位置付け、心と体のつながりについて関連が図れるよう、系統・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年では前回より約32%増になっている。第5,6学年は、前回より約29パーセント増になっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習の見通しをもてるよう、学習課題を各項目のタイトルの近くに示すなど、学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○ 学習したことを家庭や地域などで確かめたり、調べたりする活動のヒントが随所に設けられ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○ 科学的な理解に結びつく「見えないものが見える化」した資料（科学の目）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	